

## 2019年春闘要求を提出する

本部は、2月13日、2019春闘要求を提出しました。以下、報告します。

内閣府による1月経済月例報告では、「景気は緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される」との見解を示しています。しかしながら、生活必需品の価格は上昇し、ガソリン価格も高値を維持し、また、住宅ローン・学費や塾費の負担も重くのしかかり、生活実態レベルは何ら向上していないのが現状であり、さらには消費税増税が控え、ますますの負担増が強いられます。

JR貨物の28年度決算では連結経常利益103億、29年度は104億円を計上し、2年連続鉄道事業黒字も達成しました。30年度は西日本豪雨を含め、多くの自然災害に見舞われ、多大な損失を出しましたが、通期見通しでは20億近い経常利益を出せると社長は発言しており、これは社員の頑張りであることを認識すべきであります。また、輸送障害により、連日、列車遅延が発生している中、社員は安全安定輸送に努めており、将来において希望が持てる会社づくりをしなければ、社員の士気は一向に上がりません。

以上を踏まえ、誠意ある回答を求めます。

(賃金引上げ要求)

- 1、2019年4月1日以降の賃金については、定期昇給4号俸実施のうえ、月例賃金総額6000円以上引き上げ、そのうち3000円以上のベースアップを行うこと。
- 2、期末手当年間4,5ヶ月以上(夏2,1ヶ月以上・年末は夏の差額)支給すること。
- 3、55歳以上の社員については、定期昇給4号俸分相当の賃金改善を図ること。
- 4、契約者、臨時社員の賃金についても、社員に準じて引き上げること。

---

5、60歳以上の社員については、基本給を一律1万円上積みすること。

6、パート社員については、時間給額40円以上の引き上げをし、時間給額1000円に達していない場合は賃金改善を図ること。

※諸要求については、人事制度見直しの絡みもあり、別途提出とする。

組合・誠意ある回答を求める。

会社・今年度、西日本豪雨を含め多くの自然災害で100億円を越える損失が生じた。通期見通しで経常利益を見込んでいるが、損害保険を利用している。残りの期間も目標に向け取り組んでいく。今後、真摯に交渉していきたい。

以 上

---